

府立中津支援学校 令和 6 年度「学校運営協議会」議事録（第 2 回）

日時	令和 6 年 12 月 20 日（金）10：00 ～ 12：00			
出席者	協議会委員	所属等	学校事務局	校務分掌等
	川 田 和 子	大和大学 教授	木下 美香子	校長
	大 橋 弘 嗣	大阪整肢学院 院長	林 佳 巨	教頭
	花 咲 典 之	中津連合振興町会 会長	入 福 濱 光	首席
	中塚 磨由美	大阪北ライオンズクラブ	宇 賀 功 二	首席兼中学部主事
	園 田 葉 子		野 島 香 織	小学部主事
	梅 谷 通 代	中津保育園 園長	三 木 智 裕	高等部主事
			富田 絵梨香	進路指導主事
			石 川 朋 子	防災担当
傍聴人				
おもな テーマ	・ 令和 6 年度 学校経営計画進捗状況について ・ 各部署からの報告（学部、進路、中津まつり、防災 他）			
協議内容 の概略	1 令和 6 年度 学校経営計画進捗状況について 学校長より、12 月 19 日現在の今年度の各取組みにおける進捗状況について資料をもとに説明を行った。 （委員より） ・ 本年度の取組「3-（2）-ウ 防災連携」について 12 月 11 日に実施した合同地震・津波避難訓練において、中津保育園では、年長保育の行事日と重なり園長が引率のため不在だったが、災害はいつ起こるか分からない、それは園長の不在時の可能性もあるからと、職員がその時の状況で実施したいと申し出、自分事として計画・実施できた。園にとっても、生きた訓練となり感謝している。 2 各学部の取組みについて 小学部から順に、部主事より各学部の現段階での取組みについて、スライド（写真等）を見ながら報告した。高等部からは、校内実習で行ったコーヒー販売を、運営委員のみなさんに向けてその場で生徒が実演・販売を行い、生徒たち様子を実際に見ていただくことができた。 3 中津まつり（11 月 30 日実施分）について 各学部の取組み同様に、小学部から順に、中津まつり本番の動画や写真を通して、観ていただいた。 4 その他の取組みについて 中津支援教育展 2024（8 月 20 日～22 日実施）、ボランティア講座（8 月 9 日実施）、ライオンズサンタ（12 月 18 日実施）、ドラムフェスタに向けた出前授業（12 月 9 日実施）、教材教具等実践事例集・なかつ教材カタログ（Web 版教材集）等について、教頭及び首席より説明を行った。			

5 質疑応答・協議

(委員より)

- 子どもたちは、楽しみに学校に行っているので、安心している。

重症度の高い子どもや医療的ケアを要する子どもが増えてきているが、そのようななか、様々なことに対応していただき、また教育を行っていただき感謝している。災害時の避難について、夜間スタッフが少ない。できれば地域の方に夜間の避難に関して、応援をお願いできればと考えている。合同防災訓練等にも参加してもらえるとありがたい。

- 地域としても災害時の対応について、何とか応援できるよう考えていきたい。10月より防災訓練の講座を区役所をお願いして行っており、そのなかで検討する。

- 配付された実践報告集を見て、様々な取組みに向けた学習をきちんとされていると感じた。ドラムの出前授業やドラムフェスタに向けた取組みについても、きっちりと前段階として事前学習等に取り組んでいただいているからこそ、本番につながっていると感じる。先生方が行事やイベントを成功させるために何をすべきかを考え、教育活動のなかに入れられている姿勢が素晴らしいと感じた。

また、実践事例集が堅苦しいものではなくユーモアが盛り込まれていて素晴らしい。どの取組みからも、どうすれば子どもたちが楽しみながら学べるのかを、すごく考えて先生方の心意気や気合いを感じとることができた。

キャリア学習について、小中高の連携は、支援学校では意外と難しく、バラバラなことの方が一般的だと思うが、中津支援学校では各学部が連携し将来を見据え、学校全体で取り組んでいることが伝わってきて感動した。

- 毎回、この場での報告を楽しみにしている。先生方へのプレッシャーになるといけませんが、今後どんなことが起こるのかという期待感があり、安心して運営協議会に参加できている。

- 阪神大震災が起きたときは保育園だけで対応した。しかし、今は地域みなさまに助けていただくことができ、園としてもできることがある。これからも子どもたちの命、自分たちの命を守れるよう努めていきたい。